

高等学校総合学科設置22校の教育課程、進路選択教育、 職業教育に関する調査結果

寺田盛紀

本調査結果は『名古屋大学教育学部紀要 一教育学科』第42巻第2号（1996年3月）所収の拙稿「高等学校総合学科の教育課程と進路選択教育・職業教育の様態に関する実証的研究」の姉妹編をなすものであり、同稿の分析のもとになっている基礎的資料を掲載するものである。調査は、1994年（平成6年度）4月から導入された高等学校総合学科の教育課程、進路選択教育、職業教育の存在様態とその特質を解明するためのものであり、1校を除き全国22の総合学科設置校に及んでいる。

調査は2種類からなり、1つが同学科設置校管理者に対する送付依頼に基づく、教育課程表、学科案内、履修ガイダンス書、校内調査等に関する資料調査と、もう1つが任意に選ばれた6つの同学科設置校（A～F校）の管理者に対する聞き取り調査である。以下、「聞き取り結果」と記さない項目は、すべて収集資料を整理・分析したものであることを意味する。

なお、文中の「普通」あるいは「普通科型」は普通科が総合学科に改組された学校を、また「普・職型」は普通科と職業科が合わせて同学科に改組された学校を、さらに「職業」または「職業科型」は職業科単独設置校が同学科に転換した学校を意味する。

I. 学科改組と総合学科の設置に関する経緯

資料1. 総合学科設置の経緯と理由（聞き取り結果）

（1）外部からの要請（教委の指導）

- <A>①前教育長在任時に前々校長に打診。転任でたち消えになっていたが、昨年度（H6年）5月に再度打診。実施検討委員会設置。
- H5年度中教育委員会の勧め。H5年度中に伊奈学園他特色ある学科の視察。H6年2月に設置決定。H6年度教委指導主事校長に赴任。H6年度から設置の7校の視察。
- <C>H5-6年度県教委・高校教育多様化推進に関する調査研究協力校。
- <D>①H4年度県教委にプロジェクト、H5年度現校長赴任、職場討議。
- <E>教委から打診。この地域が例外的に生徒増（学級増）のため、総合学科増設（校舎建築）で対応。
- <F>H4年6月、高等学校教育の改革の推進に関する会議の「第1次報告」後、本省、教委から様々なメリットを示されてその気になった。

（2）学科改組の校内基盤

- <A>①コース制を実施し、進路が元々多様であり、基盤があった。
- ①4年前に改革ビジョン委員会設置、3年前から学校に危機感が自覚されてきた。
- <C>①約5年前にコース制、②H4年度から学科改変の動きがあった。
- <D>①H5教科指導部会、学力対策委員会などでの単位の弾力化、学級規模縮小という改革方向に合致。
- <F>①H2年度以降の県の改革推進の研究指定校、②かつての「陸の孤島」の名残のある地域の高校の活性化、③地域の進学校（同一地域に2校）であるため、学力格差が著しく、苦悩していた。

（3）総合学科に期待すること

- <A>①1983年設置の新設校でかつて荒れていた。②学級減への対応。メリット（人・物・金）への現実的判断（9学級→6学級にす

- る場合、教師1学級2名×3学級×3学年で18名、9教室減になる。加配で(6学級10名確保;初年度5名)③市北部学区の交通に不便な学校の対応。④総合学科のメリットにつきる。
- ①生徒減・学級減への対応、②入学生徒の質の低下、③逆に、進学希望者(能開短大)の増加、④やるからには「日本一の総合学科を目指す」、⑤職業科の色彩を薄めること。
- <C>①学級減への対応、②学校立地条件(山間地)のマイナス面の克服、地域に根ざした学校づくり、魅力ある学校にして生徒の郡外学校への流出を阻止する、③入学者数の定員割れ対策。
- <D>①生徒の個性の尊重をめざす教育の集大成。
- <E>①職業科の「じり貧」状態からの脱皮(新たな職業教育)、②地域の職業教育の需要への積極的対応、③総合学科の理念への期待もある。
- <F>①「外からも生徒を呼べる学校づくり」、②生徒の多様な進路の保障、③設備、加配の魅力。

(4) 校内での賛否

- <A>①反対論、「理想論」(デメリットを指摘する意見)はあった。
- ①職業科教師の異論:産業教育振興法による手当カット、専門教員を圧迫することへの不安。
- <C>反対論もあった。
- <D>①必修教科の履修単位減で基礎学力が低下する、②職業学科の専門性が低下する。②新学科がよくなるのか不透明である。③HRがやりにくくなり、一層指導困難になる。
- <E>①先が見えない。
- <F>①普通科教師の必修による履修が減ることへの反対。

(5) 設置までに苦心したこと

- <A>①前年度5月半ばは職員会議で検討委員会発足、6月28日に実施を決定後、8月の県教委発表までの間の準備の時間が不足した。②既実施校の視察を断られた。
- ①科目設定と教委との折衝、②人事配置、産振手当教員の配置(環境と情報は適用外)、③時間割編成。
- <C>①多様なカリキュラムを編成すること、とくに特色ある(自由選択)科目の用意、②施設・設備予算の確保。
- <D>①職員の説得、合意形成、②行政との関係、120の科目を開講する手当、設備・施設の整備。
- <E>①地域の理解を得ること(OB組織の抵抗:校名から職業科の名称が消えることなど)、②職業教育(教師)の維持を可能にする(産振対応科目の確保)。
- <F>②地域教育懇談会(OB会)の「わけの分からない学科」をつくることに反対。

資料2. 系列設置の際に配慮したこと(聞き取り結果)

(1) 系列数を決定する時の根拠・系列を編成するときに考慮したこと。

- <A>①過年度生の旧コース(4)を倍加。県教委は学級数と同じにしないように(できるだけ多くする)よう指導。
- ①当初8系列を考えたが、教委の指導で5系列に減らした。(旧学級数より少なく=職業科の塗り替えてないように)、②生徒のニーズ、③教委の指導、④学校の独自性をだすこと。
- <C>①従来の普通科コース3のうち(の数)2、2つの職業科で各1、普通科文系(就職コース)1を特色ある系列にした。②系列は選択の目安であり、それ自身あまり意味がない。
- <D>①普通科文系、理系、選択商業(流通)、健康体育、1職業学科+選択科目(1職業科目群)に対応、特色ある系列を設置(1人加配)。
- <E>①旧職業科の5学科+学級増3=8に対応、②近辺に商業高校がないことを考慮、③他は地域の技能者需要に対応、④またこの地独特の「特色ある系列」を設置。
- <F>①H2年度以降実施してきた(普通科)コース制の数+職業学科の数+地域の特色を出す系列(2)。

(2) 選択科目・数・単位数の設定について

- <A>①県教委が100以上の選択科目を置くように指導、②その他の科目をできるだけ確保するようにした、③進学希望の場合、特定科目(英語や数学)で30単位。
- ①自由選択を含めて選択科目が100以上になるようにした。(103科目、普通科目を入れて128科目)、②200通りの時間割の調整。
- <C>①各系列にあう、学習指導要領に示される科目と特色ある(魅力ある)科目を考え編成した。
- <D>①進学と就職、ライセンス(14)取得に必要な科目の系列内の「系統的」な設置、②生徒の興味、関心を高める科目、③普通科、専門学科以上に対応できるように個別科目群内の「徹底的な」設置(中国語8単位、選択科目を2時間連続履修の時間割)。
- <F>①総合選択科目に「その他の科目」で県の姉妹協定を結んでいる国の言語(数名の英語教師の第2外語でもある)を取り入れるなど、特色を出した。

表1. 各校の系列設置・科目編成のねらい

タイプ	校名	系列名/科目	系列編成のねらい/系列別専門科目履修可能単位数
普通	高陽東	コミュニケーション	「コミュニケーションに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、…<進路>語学系・

	自然科学 環境科学	教育系・・・等の進学、サービス・対人関係等の職業に就職など 「自然の事物・事象に関する観察・調査・総合化に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ・・・進路」理学系・工学系・農学系等の進学・・・生物生産・製造関係等の職業への就職など 「・・・自然環境の調査・測定・保全に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ・・・（進路）理学系・工学系・農学系等の進学・・・建設・森林・環境関係等の職業への就職など 『飛翔 総合学科』1995.	
	沖縄 陽明	福祉サービス 人文科学 以下略	社会福祉に必要な基礎的・基本的な知識と技能を習得させ、・・・（ねらい・進路）福祉士の国家試験受験資格が得られるよう・・・大学の福祉関係学科への進学、ホームヘルパー・・・ ・・・など人文科学教科・科目を中心に学習させ、（ねらい・進路）従来の普通科の文系科目中心 『学校案内』
	進みたい系列 (N=229)	1.福祉(36.2)、2.情報(20.1)、3.未定(18.8)、4.地域振興(10.5)、5.人文科学(10.0)、 「入学から登録に関するアンケート」	
普・職	和歌山	語学文化 工業技術 美術工芸	英・国・地歴・を中心に構成。・・・真の国際人として国際社会に積極的に貢献することができる知識・技術を習得させる・・・。文化系大学・専門学校への進学。国際協力関係、地域開発産業・・・機械や電気に関する教科・科目を中心に構成。機械や電気に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ・・・。工学系の大学・専門学校への進学、製造業の企業への就職 美術・工芸の科目を中心に構成。美術・工芸の学習を通して美的体験を豊かにし、・・・芸術系・デザイン系の大学や専門学校への進学、企業・官公庁等の広告・広報部門就職
	希望系列(MA) H6年度入学生 H7年度入学生	「県H7 県議会文教委員会視察説明資料」(H7.9.6) 1.語学文化42、2.工業技術39、3.健康体育34、4.情報科学33、5.美術工芸32、6.流通管理21、 1.美術工芸48、2.流通管理36、3.語学文化34、3.その他(未定)34、5.工業技術13	
	山 辺	国際文化 自然科学 生物生産 生活文化	「普通科英語型の開設科目を引き継ぎ英語系を中心とした大学受験に必要な科目を設ける・・・ 「普通科理型の開設科目を引き継ぎ理数系の大学受験に必要な科目を設けると共に、地域の・・・ 「これまでの農業科の科目のうち、生産系の科目を中心に設定した。」 「これまでの家庭科の科目に看護・福祉の科目及び『作法』を導入した。」 『H5・6年度教育委員会「高校教育多様化推進に関する調査研究」報告書』1995.
	村 田	国際教養 自然科学 社会福祉	「普通科がベースとしてあり、・・・などの進学を目指すあなたが選ぶ系列。・・・文系進学者のための系列です。従来の普通科との違いは受験準備をしながら普通科に選択不可能だった専門科目を選択できる。・・・1.センター試験を受けるためには・・・2.私立4年制大学や・・・」 「環境を保全し、かつ改善していく能力が身につくような科目を学習していく。また、理数工学・薬学・・・進学者にとって必要と思われる基礎科目も併設する。」 「(1)介護福祉士を希望する者・・・(2)大学や専門学校の進学を希望する者・・・(3)生活全般の教養 『平成7年度入学生総合学科 選択の手引き』
	希望系列(MA)	「総合学科入学意識調査」(1995.4.14) N=160 (MA:男90、女70;推薦64、一般96) 1.メカトロ33(25.0;全て男子) 2.コンピュータビジネス32(24.2;女子19人) 3.社会福祉(20.5;全て女子) 4.メカニカルテクノロジー19(14.4;全て男子) 5.国際教養14(10.6)	
	増 田	人文科学 生活・福祉 ビジネス会計 以下略	「・・・文学・法学などの分野への進学をめざします。」 「・・・など生活や福祉に関する科目を重点的に学習し、生活・福祉関係への進学・就職をめざし 「・・・ビジネス活動に関する科目を重点的に学習し、一般企業などへの就職をめざします。」 平成7年『学校案内』
	2年次から選 択予定の系列	「総合学科アンケート調査」(1995.7.5)N=205 1.ビジネス会計(21.4)、1.社会教養(21.4)、3.人文科学(17.9)、4.自然科学(11.9) 5.生活・福祉(11.4)、6.芸術文化(6.0)、7.生物資源(4.5)、8.未定(5.5)	
職業	金沢 北陵	福祉・健康 国際ビジネス 生産技術 以下略	5系列進路別(計36通り)の履修例を提示 8.福祉系大学を目指す場合:生涯ｽﾎｰﾗ4、総合・自由から12、11.就職を希望する場合:・・・ 20.私立大学(文系)を目指す場合:総合・自由から10、23.専門学校が就職を希望する場合:・・・ 25.工業系大学を目指す場合:工業6、27.工業系の専門学校を希望する場合:工業20、・・・ 28.機械系を中心に学習し就職を希望する場合:工業33、総合・自由から6 『総合学科 進路ガイダンスブック』1995
	小 笠	社会科学 国際教養	社会の仕組みや政治・経済などについて学習、・・・(政治・経済系、法律系への進学に対応) 日本や世界の歴史・文化について学習するとともに、・・・国際交流に積極的に参加・貢献しようとする意欲と態度を身につける。(外国語系、文学系等への進学に対応)

	自然科学 情報	…自然科学における基本的な原理や法則について理解を深め…(理学系、工学系、医学系等への進学に対応) コンピュータの原理・原則について学習するとともに…情報化社会に主体的に対応 『総合学科について』
筑波 坂戸	生物資源 メカトロニクス 以下略	生物資源の生産・加工・貯蔵及び流通等に関する知識と技術を習得させ、生物資源の意義・役割・特質等を理解させるとともに、生物資源にかかわる業務に必要な能力と態度を育てる。 コンピュータ技術や電子技術に関する基礎的な知識と技術を習得させ、これらの技術を用いて電子機械の設計・製作方法企画し、実際に活用する能力と態度を育てる 『学内プロジェクト研究第2報』
益田 産業	生活文化	「家庭生活の各分野に関する総合的な知識・技術とともに、官公庁等の食品・栄養・医療部門…その他生活関連産業に従事する。学習を通じて生じた生活文化、家庭生活に関する興味・関心に基づいて、家政系、生活科学系の大学や専修学校の進学をする」 『H7学科案内』

II. 入学試験と生徒の入学動機・進路希望

資料3. 各校の入試システムと生徒の入学動機

<普通科型>

余 目

入試：定員200、推薦20%以内（推薦書、調査書、面接）、一般選抜（調査書、学力検査、面接）

生徒意識：「産人ニュース」No.1. (1995.4.25) N=155 (1年次生)

- *「どんな点に期待して入学しましたか」
1. 系列内の専門科目(31.6)、2. 就職先を考えて(26.5)、2. 将来の進路を考えるため(26.5)、4. 進学先を考えて(12.3)、5. その他(3.1)

<普・職型>

岩谷堂

入試：定員200、推薦20%以内（推薦書、調査書、面接）、一般選抜（調査書、学力検査、面接）

生徒意識：「総合学科に関する第2回意識調査」(H6.7.19)、N=210 (回答208)

*Q1. 「あなたが岩谷堂高校を選んだ理由」

1. 総合学科の創設(32.6%)、2. 学校所在地（交通の便・地元校）(26.9)、3. 「自分に適している」(20.4)、4. 「家族に勧められて」(5.9)、6. 進学実績(4.6)、…11. 「就職実績」(0.8)

*Q4. 「入学前に総合学科の内容について理解していましたか」

1. 「何となく理解していた」(66.8)、2. 「理解していなかった」(29.8)、3. 「よく理解していた」(3.4)

村 田

入試：定員160名、推薦40%以内（中学ごと15名程度；推薦書、調査書、個人面接、作文）、一般受験（調査書、5教科実施、任意2教科につき1.5倍傾斜、面接）

生徒意識：「総合学科入学意識調査」(1995.4.14)

N=160 (男90、女70；推薦64、一般96)

*Q. III③入学動機「村田高校を選んだ動機として、一番大きなものは？」

1. 大幅な科目選択ができるから82(52%) 2. 就職を考えて25(16) 3. 進路決定を3年間で考えるため17(11) 4. 自分の成績で入れる13(8) 5. 進学を考えて11(7) 6. 入試方法(推薦や傾斜配点)が自分に合っている1(1)

*Q. III⑤「初めから村田高校の総合学科を志望していたか」

1. 「初めは普通科志望」(24%)、1. 「初めは職業科志望」(24)、3. 「学科に関係なく村田高校」(21)、4. 「初めから総合学科」(19)、5. 「今も職業科志望」(3)、5. 「どんな学科でもよかった」(3)、5. 「今も普通科志望」(1)

増 田

生徒意識：「総合学科アンケート調査」(1995.7.5、N≤205)

*Q1-3. 総合学科に魅力を感じた理由(SA)

1. 自分で時間割が組める(50.5)、2. 興味ある選択科目がある(40.1)、3. 単位制が魅力である(4.7)、4. その他(4.7)

*Q2-2. 「在学中に取得したいと思っている資格は何ですか(MA)

1. 英語検定(51.0)、2. ワープロ検定(17.0)、2. 危険物取扱者(17.0)、4. 簿記検定(15.0)、5. ホームヘルパー(10.6)、6. 家庭技術検定・食物(8.6)、7. 毒物劇物取扱者(6.6)、8. 情報技術検定(5.1)、8. 販売士(5.1)

*Q2-1. 「本校に入学して」

1. 「満足している」(85.6)、2. 「満足していない」(14.4)

(満足している理由)

①学校生活に関する理由(131人)：a. 楽しい(14)、b. 先生が熱心(13)、c. 部活が盛ん(6)、…

②総合学科に関する理由(71人)：a. 科目選択が多く、自分のやりたいことができる(48)、b. 体験学習が参考になる(13)

(満足していない理由)

①総合学科に関する理由(6人)：a. 移動が面倒、b. 思うように選択ができなかった、c. 1年から系列（進路）をきまればばならない。、②何となく(4人)、③問題行動が多い(4人)

<職業科型>

昂学園

生徒意識（「昂学園高等学校・新入生アンケート」1995.4.、N=80）

*Q1. 「あなたは本校のどんな特色にひかれましたか」(MA)

1. 自主的に科目選択ができる(71.3)、2. 自分の興味関心に合っていた(57.5)、3. いろいろな資格が取れる(40.0)、4. 校風や環境がよい(38.8)、5. 新しい学科である(35.0)、6. 5系列の学習ができる(21.3)、7. 目標変更ができる(3.8)

*Q5. 「あなたは本校の総合学科のどんな点に期待していますか」(MA)

1. 5つの系列の専門教育が受けられる(45.0)、2. 将来の進路に有利(41.3)、3. 進学先が幅広く考えられる(13.8)、4. 就職が有利(1.3=1人)

小 笠

入試：定員320名、一般選抜60%；調査書、学力検査（5教科受験、うち3教科高得点教科を評価）、面接（1次=集団面接、2次=自己表現；教科や特別活動にかかわるテーマ・内容の概要を明記して申請、1人10分）、推薦40%程度；調査書、面接（一般選抜に同じ）

筑波大坂戸

生徒意識：H6年度新入生アンケート（N=160）

Q. 1：「あなたは本校のどんな特色にひかれましたか」（MA、Ans.=189）

1. 「自主的な科目選択」（37.0）、2. 「興味関心に合致」（17.9）、3. 「校風や環境がよい」（14.8）、3. 「新学科である」（14.8）、
5. 「資格がとれる」（4.2）、6. 「目標が変更できる」（3.7）、7. 「普・職両方が学べる」（1.5）

暹 摩

生徒意識（「暹摩高校に関するアンケート結果」H7.5.10, N=203）

Q5. 「本校の特色でひかれるものは」（MA）

1. 選択の自由(63.5)、2. 資格取得(45.3)、3. 興味と一致(30.5)、4. 普通科目と専門科目の両方が学べる(23.2)、5. 新学科である(20.2)、6. 校風や環境(15.3)

益田産業

生徒意識（入学動機）：「平成年度総合学科新入生アンケート」（H6：N=40）

Q1. 「あなたは本校のどんな特色にひかれましたか」（MA）

1. 「自主的に科目選択ができる」（27.0）、2. 「普通・専門科目両方が学べる」（24.3）、3. 「興味関心に合致している」（18.9）、
4. 「新学科である」（14.9）、5. 「資格がとれる」（10.8）

「平成7年度（総合学科）新入生アンケート」（H7.6.22：N=40）

Q1. 「本校のどんな特色にひかれましたか」（MA）

1. 「将来の進路に有利」（75.0）、2. 「興味関心にあっている」（55.0）、3. 「校風・環境がよい」（15.0）、4. 「資格がとれる」（10.0）

表2. 平成6年度卒業生の進路実績と総合学科生の進路志望の比較

類型 校名	実績 実施期日	進 学					就職 率	他 不明	未定	合 計 %(実数)	備 考
		国公	私大	短大	専修	計					
普通											
1 番校	H6実績	0.0	0.0	19.8		19.8	80.2			100.0(111)	
2 番校	H6実績	10.1	21.6	39.4		71.1	28.9			100.0(287)	
普・職											
1 番校	H6実績	4.3	17.0	17.8	30.8	69.8	30.3			100.0(400)	
	6.1212	22.0	19.0	27.0		66.0	22.0	4.0		100.0()	
2 番校	H6実績	13.9	24.3	23.9		62.1	11.3	26.5		100.0(460)	6期生（S.61開設）
3 番校	H6実績	1.8	12.7	7.7	45.7	67.9	32.1			100.0(221)	現2年次生
	H6.12	30.0	11.4	32.8		74.2	21.0		4.8	100.0(210)	4年制志望例年より10%UP
4 番校	H6実績	25.9	31.8	29.7		87.4	12.6			100.0(239)	6学級
	1995.4	31.0	7.0			81.5	2.0		16.5		5HR
5 番校	H6実績	0.9	3.5	21.2		25.6	49.1	25.2		100.0(226)	
	7.4.28	26.6	8.0	29.1		63.8	36.2			100.0(199)	1年次生
	7.4.30	19.5	13.0	27.5		60.0	32.5		7.5	100.0(200)	2年次生
7 番校	H6実績	2.4	9.8	23.2		35.4	57.3	7.3		100.0(82)	
8 番校	H6実績	1.4	8.2	15.8		25.4	74.0	0.7		100.0(146)	
	7.4.14	10.5	6.4	22.2		39.2	60.8			100.0(171)	
9 番校	7.5.2	11.2	9.8	19.0		40.0	42.4		17.6	100.0(205)	未定の中に、14.1%の進学希望有
	農業科	0.0	7.5	12.5		20.0	55.0		25.0	100.0(40)	未定の中に、17.5%の進学希望有
職業型											
1 番校	H6実績	4.4	12.0	18.7		35.1	63.1	1.7		100.0(225)	
	7.4.15										
	総1年					54.7	25.9		19.4	100.0(201)	
	2年					29.4	65.5		5.1	100.0(194)	
	3年					28.6	70.9		0.5	100.0(203)	
	入学時					23.9	18.4	27.4	30.3	100.0(201)	
	7.5.23					31.3	19.4	30.3	19.0	100.0(201)	産社後実施 進路決定済み・専門学習没頭
2 番校	H6実績	大・短合	1.7	20.7		22.4	77.6			100.0(58)	
	7.4.		36.3	27.5		63.8	22.5		13.8	100.0(80)	
3 番校	H6実績	34.4	15.6	27.9		77.9	18.7	3.8		100.0(131)	就職・進学のダブルリンク有り
4 番校	H6実績					29.2	67.6	3.2		100.0(185)	
	7.5.15	19.8	4.9	54.2		78.9	21.1			100.0(308)	
5 番校	H6実績		12.3	40.0		52.3	47.7			100.0(155)	
	H6入学時		37.5	20.0		57.5	13.7	5.6	23.1	100.0(160)	

6番校	H6実績	大・短合	8.6	32.3	40.9	59.1			100.0(198)	
	7.5.10		6.9	12.8	32.5	52.2	32.5	15.3	100.0(203)	
7番校	H6実績		2.6	0.5	30.5	33.6	64.2	2.1	100.(190)	
9番校	H6実績		0.0	17.5	52.5	70.0	30.0		100.0(40)	
	6.			37.5	42.5	80.0	5.0	15.0	100.0(40)	H 6 年度生
	7.6.22			20.0	60.0	80.0	5.0	15.0	100.0(40)	H 年度生新入生アンケート

III. 総合学科の教育課程

表3. 金沢北陵高校の教育課程表

平成7年度以降の入学者に適用する教育課程表

石川県立金沢北陵高等学校

総合学科			平成7年度以降の入学者に適用する教育課程表				
教科	科目	標準単位数	1年次	2年次	3年次	計	
必修	国語	国語 I	4	4		4	
	地理	世界史 A	2		2 4 } 1科目を 履修する 2・4	2 4 } 1科目を 履修する 2・4	4・6・8
		世界史 B	4				
		日本史 A	2				
		日本史 B	4				
		地理 A	2				
		地理 B	4				
	公民	現代社会	4	4			4
	数学	数学 I	4	4			4
	選択	理科	物理 I A	2	2 2 } 1科目を 履修する 2	2 4 } 1年次の 履修以外か の区分から 1科目を 履修する 2・4	4・6
物理 I B			4				
化学 I A			2				
化学 I B			4				
生物 I A			2				
生物 I B			4				
保健体育	体育 保健	7	3	2	2	7	
	体育 保健	2	1	1		2	
	芸術	音楽 I 美術 I 書道 I	2 2 2	2 2 2 } 1科目を 履修する 2			2
家庭	家庭一般	4		2	2	4	
必修科目単位数計			20	9~13	6~8	35~41	
原則履修科目	産業社会と人間 情報活用 I 課題研究	2 2 2~4	2 2		2・4	6・8	
	原則履修科目単位数計			4	0	2・4	6・8
総合・自由選択科目単位数計			6	17~21	18~22	41~49	
特別活動時数	ホームルーム活動		1	1	1	3	
	クラブ活動		1	1	1	3	
単位数及び選当たり時数合計			32	32	32	96	
系列	総合選択科目				自由選択科目		
	基礎科目		基礎以外の科目				
人間科学系列	1年次選択 ・ 1-24 コ3127-920A(2) ・ 1-24 コ3127-920B(2) ・ 数学 A(2) ・ 英語 I(4) ・ 英語 II(2) ・ 347217-(2)		古典 I(3)(文系) 数学 B(3)(理系) 数学 II(4)(理系)	世界史B(4) 日本史B(4) 地理 B(4) 物理 I B(4) 化学 I B(4) 生物 I B(4)	古典 II(2) 現代文(4) リサーチ(4) ライティング(4) 郷土の文学(2) 石川の文化と歴史(2)	古典語訳(2) 現代語(2) 論理(2) 数学 B(2) 数学 C(2) 物理 II(2) 化学 II(2) 生物 II(2) 音楽 C(2) 美術 II(2) 書道 II(2) 音楽 III(2) 書道 III(2)	
福祉・社会学系列			数学 II(4) 英語 II(4) それぞれ 2,3年次に 分別履修 も可能	社会福祉基礎(3) 社会福祉実習(4)(福祉) 生涯スポーツ(4)(健康)	老人介護(4) 社会福祉援助施設(2) スポーツ理論(2) 農業管理(2) 総合24'-71(4)	看護基礎医学(2) 基礎看護(2) 世界史B(4) 日本史B(4) 地理 B(4)	237707-9(2) 社会福祉制度(2) 社会福祉実習(2) トレーニング(2) 総合24'-72 II(2) 国際交流(2) 高層法規(2) 70707-9(2)
国際ビジネス系列			4単位分 選択する	外国事情(4) 時事英語(2) 流通経済(3)	国際理解(2) 国際経済(4) 随記(2) 情報処理(2) 英語実務(2) マフティング(2)	政治・経済(2) ライティング(4) ライティング(4) 世界史B(4) 日本史B(4) 地理 B(4)	237707-9(2) 基礎(2) 食物(2) L.L.演習(2) 中国語(2) ハンブルク(2) ロシア語(2)
環境工学系列			国語 II(4)	環境工学(4) 環境実習(4) 地球環境(2) 生活環境(2)	環境工学(4) 環境実習(4) 化学リサーチ技術(2) 化学工業安全(2) 環境保全(2)	実習-1244'-実習(4) 自動車工学(2) 数学 II(4) 英語 II(4)	社会福祉制度(2) 社会福祉実習(2) トレーニング(2) 総合24'-72 II(2) 国際交流(2) 高層法規(2) 70707-9(2)
生産技術系列		工業基礎(4) 情報技術基礎実習(3) 基礎製図(2)	機械工作(4)(機) 電子基礎(4)(電) 機械実習(4)(機) 7774実習(4)(機) 電気・電子実習(4)(電) 電気工作実習(4)(電) 機械製図(2)(機) 電気・電子製図(2)(電)	電気基礎(2)(機) 情報技術実習(4) 機械設計(4)(機) 電子機械(4)(電) 計測制御(2)	30511-95用(2) 電子回路(2) 数学 II(4) 英語 II(4)	ビジネス技術(2) 工業製図(2) 北陵の環境(2) 7774実習(2)	

表4. 総合学科教育課程表(単位数)の比較
(氏家高校除く)

校名 規 準	年次	高必 35≦	原則履修 6≦	総合選択 総合+原則≧30	自由選択	選択合計 (履修可能専門)	HR 3≦	特活 3≦	合計履修 96	卒業認定 80
普通科型 宮城野	1	17	産社/情報 4			9	1	1	32	
	2	7				23	1	1	32	
	3	5	課題 2			23	1	1	32	
	計	29	6			55	3	3	96	
高陽東	1	22	産社/情報 4	4	0	4	1	1	32	
	2	11	0	13	6	19	1	1	32	
	3	2	課題 2	18	8	26	1	1	32	
	計	35	6	35	14	49	3	3	96	
余 目	1	22	産社 2	4	2	6	1	1	32	
	2	10	情報 2	14	4	18	1	1	32	
	3	4	課題 2	20	4	24	1	1	32	
	計	36	6	38	10	48	3	3	96	
沖繩 陽明	1	22-24	産社 2			4-6	1	1	32	
	2	8-12	情報 2			16-20	1	1	32	
	3	4-8	課題 2			20-24	1	1	32	
	計	36-40	6				3	3	96	
普・職型 木 本	1	29	産社・公 2			0(普通で15)	1	1	33	
	2	13-15	情報 2			14-16	1	1	33	
	3	7	課題各科2			22	1	1	33	
	計	49-51	6			38	3	3	99	
岩谷堂	1	15	産社 4	12	0	12	1	1	33	
	2	5	情報 2	21	3	24	1	1	33	
	3	2	課題 2	16	11	27	1	1	33	
	計	22	8	49	14	63	3	3	99	
久喜 北陽	1	22	産/情 4			5	1	1	33	履修87 習得80
	2	9				21	1	1	32	
	3	4	課題 2			24	1	1	32	
	計	35	6			49	3	3	97	
和歌山	1	18	産社 4			8	1	1		
	2	8	0			22	1	1		
	3	5	課題 3			22	1	1		
	計	31	7			52	3	3	96	
小 杉	1	22	産社 2			6	1	1	32	
	2	12	情報 2			16	1	1	32	
	3	2	課題 2			26	1	1	32	
	計	36	6			48	3	3	96	
山 辺	1	21	産社1+1/情2			6-8	1	1	34	
	2	14	情報 2			12-18	1	1	33	
	3	7	課題 2			21-25	1	1	33	
	計	42	6			39-51	3	3	100	94
村 田	1	18	産社/情報 4			8	1	1	32	

	2	8				22	1	1	32	
	3	0	課題 2			28	1	1	32	
	計	26	6			58	3	3	96	
増田	1	22	産社 2			7	1	1	33	
	2	11/15	情報 2-4			12-18	1	1	33	
	3	4/6	課題 2-4			21-25	1	1	33	
	計	37/43	6-8			40-50	3	3	96	
職業科型										
金沢	1	20	産/情 4			6	1	1	32	3年間在籍 80単位以 上で前期 末卒業も
北陵	2	9			21	1	1	32		
	3	6	課題 2		22	1	1	32		
	計	35	6			49	3	3	96	
小笠	1	17-21	産/情 4			6-10	1	1	33	
	2	14-18				14-18	1	1	34	
	3	4	課題 3			26	1	1	34	
	計	35-43	7			46-54	3	3	101	
昂学園	1	19	産/情 4			7	1	1	32	
	2	11				19	1	1	32	
	3	7-9	課題 2			19-21	1	1	32	
	計	37/39	6				3	3	96	
愛媛大 附農	1	21	産社 2			8	1	1	33	
	2	9	情報 2			20	1	1	33	
	3	5	課題 2			24	1	1	33	
	計	35	6			52	3	3	99	
筑波大 坂戸	1	19	産*/情4	*産社2は前前後 期は各基礎科目		6		2	31+1	+1は学校 裁量時間
	2	13			16		2	31+1		
	3	3	課題 2		24		2	31+1		
	計	35	6		46		6	96		
十日町 実業	1	22	産/情 4			6			32	
	2	11				21			32	
	3	6	課題 2			24			32	
	計	39	6			51			96	
暹摩	1	19	産/情 4			7	1	1	32	
	2	11				19	1	1	32	
	3	5	課題 2			23	1	1	32	
	計	35	6				3	3	96	
益田 産業	1	19	産/情 4			7	1	1	32	
	2	13				17	1	1	32	
	3	5	課題 2			23	1	1	32	
	計	37	6			47	3	3	96	
沖縄 水産	1	15	産/情 4			11	1	1	32	
	2	13	情報 2			15	1	1	32	
	3	7	課題 2			21	1	1	32	
	計	37	8			47	3	3	96	

(注)

- ①必修科目で35単位以下の学校は、理科、地歴科、芸術、家庭などを選択科目の中に入れて
 ②選択科目、とくに自由選択には、英語を含む多数の普通科目が含まれている。

IV. 総合学科における進路選択教育と職業基礎教育

資料4. 原則履修科目・「産社と人間」の実施状況

1. 管理者評価（聞き取り結果）

- (1) 産社の計画づくりで苦心したこと・工夫したこと
 <A>①バス、講師謝礼金等の費用。②見学先の確保。
 ①講師の確保、②費用、③移動（バスの便が良く移動しやすい）の問題。
 <D>①講師と予算の確保、②企業見学の計画。

- (2) 産社の成果
 <A>①生徒は楽しい、おもしろいという評判である。
 ①生徒の見学・体験学習の発表会がすはらしく、教師も感動した。

2. いくつかの学校の実施計画・生徒評価

<普通科型>

余 目（週2時間：30週）

(1) 「年間指導計画」

- 1学期：自己理解検査(1)、進路希望調査(1)、適性検査(2)、科目選択(2)、進路講話(2)など18H
 2学期：企業見学(2H2回)、系列体験学習(2H3回)、見学感想発表会(2)、ボランティア:クリーン作戦(2)など24H
 3学期：系列体験学習(2H)、ライフプラン(作文；2、発表会2)、科目選択表作成(4)、進路希望調査(1)、産社授業感想文(1)など18H
 (2) 生徒感想文：「産業社会と人間では企業見学もできるし、その職業などの話がくわしく適切に勉強できる。…他の学校にない勉強もできるのでとってもよい学校にはいったなと思いました。」（「産人ニュース」No. 1、1995.4.25）

<普・職型>

岩谷堂（岩手）

(1) 実施計画

1. 自分を見つける(レディネステスト2を含め9時間)、2. 進路について考える(職業情報講義、上級学校見学=1日6時間等20時間)、3. 学習計画(10)、4. 就職と進学の意義(8)、5. 職業生活への適応(近隣企業・地場産業見学1日6時間等10時間)、以下見学・現場実習等なし。
 (2) 生徒意識：「総合学科に関する第3回意識調査」(H6.8.22)、N=210
 *Q. 1. 「現在(H6)の授業時間（前期4時間、後期2時間の時数について）」
 1. 「授業時数は多い」(51.4)、2. 「授業時数は適当である」(19.0)、3. 「ままである」(13.8)、4. 「授業時数は少ない」(0.5)
 *Q. 4. 「今まで学んだ教材の中でどの教科に類似していますか」
 1. 「公民(現社・倫理・政経)」(45.5)、2. 家庭(25.2)、3. 国語(7.9)、4. 地理(7.1)、5. 工業(10.5)。
 *Q. 5. 「一番印象に残っている項目(単元)を1つ」
 1. 「進路について考える(職業について、上級について)」(61.4)、2. 「自己を見つめよう」(17.1)、3. 「就職と進学の意義について」(11.0)、4. 「職業生活への適応」(7.1)、5. 「これからの学習計画について考える」(3.3)
 *Q. 11. 「見学、作業、討議、講演等の体験学習が取り入れられていますか。これについて」
 1. 「まあまあである」(41.1)、2. 「変化があって楽しい」(31.0)、3. 「特に感じない」(23.3)、4. 学習内容が多方面にわたるためまとまりがない」(4.3)

和歌山

(1) 指導計画：2単位(52H)：授業形態別分類

校内講話	3	「産社を学ぶ意義」1他
教務ガイダンス	7	科目選択(表作成)5等
学校生活オリエンテーション	9	「高校生活について」2、「毎日の生活を反省する」2、(2学期、1年間を)「ふり返って」2等
進路ガイダス	2	
講義・討論	17	「自分を見つめる」3、「私が大切にしたもの」1、「適性とは」1、「生きがいのについて」1、「人生と仕事」1、「先輩の歩んだ道」(様々の職業)2、「自分を生かす道」(進路・上級学校)2、「地域産業」6、作文5 自分史2、講演感想文2、見学レポート1
作業	3	レディネステスト2、アンケート1
講演	2	ダンボール会社取締役1、化学会社事業部長1
見学・事前指導	4	石鹸工場・各種工場2、同事前指導2

計

52

山 辺 (奈良) (調査研究校研究報告書P.14-)

(1) 準備・試行；平成6年度に進路指導部長、社会科主任、学級担任4名(定時制分校を含む)の6名で研究委員会を組織。
H6年度から時間内1単位、時間外1単位で試行。進路部長が指導者1人。来年度(H7年度)からは担任とともに指導する予定。
課題：地理的、交通機関の面で校外実習が多くとれない。マイクロバス等による大量移動が望まれる。

(2) H7年度産社案

1. 時間割内(1単位)
2. 時間外実習(1単位)

ねらい：「地域社会における職場体験やボランティア活動などの体験的・実践的・主体的な学習活動」

実施期間：夏期・冬期休業期間、短縮授業期間に実施。

内容と計画：…詳細な指導資料

1. 新入生宿泊訓練での活動(3時間)…自己の進路・高校生活についてのディスカッション等。
2. 地域産業の体験(4時間)…勤労体験学習をとおして、成就感等の体験。
3. 職場体験学習(8時間)…職場体験学習を通じて、職業観などを学ぶ。
4. 外部講師による進学・就職説明会(2時間)
5. 先端産業の見学(2時間)…現代社会の特質である情報化の現状を見る。
6. 社会人・OBの講演
7. ボランティア実習(8時間)…ボランティア活動を理解し、活動計画をたて、実行させる。

<職業科型>

金沢北陵

(1) 指導計画(「原則履修科目 産業社会と人間」)

1. 自分を見つめる(6)、
2. 職業と生活(34)：社会人講演4、検査4、事業所見学6、奉仕体験学習10
3. 我が国の産業の発展と社会の変化(14)：法律に関する講話2、施設見学8
4. 進路と自己実現(18)：履修計画のガイダンス・作成12、ライフプラン発表会準備・発表6
5. まとめ(2)

*社会人講話…金沢公共職業安定所次長、NHK金沢放送局局長、金沢大学教育学部助教授、各2時間

*見学…2の見学と3の見学を同時実施(A：小松製作所→金沢技術専門学校、B：PFU→日本ビジネススクール 金沢、C：日野車体工業→金沢総合科学専門学校、D：澁谷工業→北国新聞社、E：津田駒工業→北陸放送)

*奉仕体験学習…1日体験；A：福祉施設での研修(8老人介護ホームで102名)、B：2聾学校で61名、C：1福祉専門学校で訪問学習

筑波大坂戸(国立・埼玉)

(1) 実施内容(「H6年度産社指導計画」「指導内容の実施報告」「高等学校「総合学科」における教育課程の編成と教育条件に関する研究」(第3報)平成6年度筑波大学学内プロジェクト研究

1. 自己を見つめる

- 1.(4.15)「オリエンテーション」、2.(4.15)「自己紹介」、3.(4.19)「入学動機調査」、4.(4.19)「向性調査」、5.(4.22)「科目選択予備調査」、6.(4.26)「青年期の生き方」、7の1.(5.6、2時間)「体験学習Ⅰ」(AB組：障害を持った生徒との交流、CD組：菜園作ろう)、7の2.(5.13、2時間)「体験学習Ⅱ」(体験学習Ⅰの他方のテーマ)、8.(5.17)「体験学習の感想を話し合う」

2. 産業と職業

- 1.(5.20)「職業レディネステスト」、2.(5.24)「産業と職業について調べる」、3.(5.27)「社会人講話」、4.(5.31)「職場見学」(5、6限を使い農4、工8、商5の計17の事業所に訪問。生徒の希望を調整)、

3. 進路について

- 1.(6.7)「就職について考える」、2.「進学について考える」

4. 学習計画を考える

- 1.(6.10-7.1までの4回8時間)「体験学習Ⅰ」-「体験学習Ⅳ」(A-Dの4組に分けて、農業基礎・環境科学、工業基礎、調理Ⅰ・服飾デザイン、情報処理の各科目のガイダンスと実習)、2.(7.5)「系列選択科目ガイダンス」、3.(7.8)「履修計画の作り方」、4.(7.12)「履修計画の完成」、5.(7.15)「履修計画を終えて」

5. 進路と自己実現

- 1.(9.2)「私のライフプラン」、2.(9.6)「卒業生講話」、3.(9.9)、4.(9.13)「校内意見発表-私のライフプラン」、5.(9.16)「授業感想アンケート」

3. 筑波大学附属坂戸高校の体験学習と生徒評価（感想文）

『高等学校「総合学科」における教育課程の編成と教育条件に関する研究』第3報，平成6年度，86頁）

（1）Ⅰ類（農業基礎，環境科学Ⅰ）の体験実習

*挿し木や接木などの実習は，とてもおもしろかった。特に，接木は初めてで，切り込みを入れるときにハラハラした。自分が選択した分野であるので，これから責任をもって頑張ろうと思う。（A. 男）

*実際に，いろいろ体験できて，勉強になることが多かった。私は，Ⅰ類に一番興味があるので，覚えることがたくさんあって，興味が一層深まった。はやく，詳しい勉強がしたいと思った。（C. 女）

*金のなる木の挿し木をした。普段の生活では体験できないことなので楽しかった。きゅうりとかぼちゃの接木も失敗が多かったが，本当におもしろかった。（D. 女）

*生まれたばかりのひよこを見ただけで，すごくかわいかった。黄色と，黒と茶色のひよこがいました。私の家でも，以前に，にわとりを飼っていて，卵からふ化させたことがあったので，とても楽しかった。（C. 女）

*きゅうりとかぼちゃの苗の接木は，とてもむずかしかった。接木の職人さんは，いとも簡単に仕上げしてしまうと思うので，やはり，すごいなと感心した。金となる木を挿し木したのは楽しかったが，これが本当によく大きくなると思うと，「命」というものは，すごいなと感心しました。また，先生の話聞いて，環境問題について学習するのは，楽しそうだし，大切ではないかと思った。（B. 女）

（2）Ⅱ類（工業基礎）の体験実習

*実際に作業しているところを見て，本格的に勉強するんだなと思った。作品を見て，とても上手にできていたので，驚いた。機械などは，よく判らないものがたくさんあったが，専門的な言葉もでてきて，相当な技術が習得できそうだなと思った。（A. 女）

*工業は，あまり面白くなさそうだと思っていたが，実際に作業を見て，そのようなこともないなと思った。小さい時，プラモデルを作っていたので，同じような学習内容があり，実習して見たいと思った。先生方の熱心さには，感動してしまいました。私たちがきちんと選択教科を決めなくてはならないと，気合いが入りました。（B. 男）

*最近では，女子も工業分野で頑張っている人がいるということが分かり，自分も，目指している分野を，責任をもって頑張りたいと思いました。先生方の話を聞いて，工場などの責任者は，大変なのだということを知りました。（A. 女）

*かたい金属を，丸や平らに削るのや，空缶を溶かして型に入れて，作品を作る実習もすごいと思った。（C. 男）

*工場内やいろいろな作業は，普段，見ることができないので，とても興味深かった。工業関係の学習内容は，だいたい理解できた。（C. 男）

V. 総合学科における生徒の科目選択と職業教育

資料5. 選択科目の最低開講人数（聞き取り結果）

<A>①5人以上が理想だが、教師・講師数の確保ができない場合もあり、弾力的に検討していく。②各持ち時間内でできるかどうか検討する。

①受講者1人以上でも開講。希望者1人の場合だけ、生徒に受講するかどうか打診する。

<C>定員20人を原則とするが、最低開講人数は決めていない。

<D>①目安は5人以上だが、1人でもやる。②現在のところ、1桁の授業はない。

<E>15人で1講座（10人にしたい）

<F>最低10人以上、10人以下の時は審議。

表5. X高校の科目別選択状況

（平成7年度一年次用開設科目のみ；2年次生履修可能；旧母胎学科、普通科+工業1学科2学級；普通科目履修者数≤200、専門科目履修者数≤80）

科目	単位	系列	展開	教科	平成6年度		平成7年度			H6年度生合計 受講者(履修率) N=200とする
					1年(%) (N=200)	講座	1年(%) (N=199)	2年(%) (N=192)	講座	
現代語	2	語学	P2Q1	国語	27(13.5)	2	22(11.1)	19(9.9)		46(23.0)
英語 I	4	語学	P Q	外国	109(54.5)	5	94(47.2)	15(7.8)		124(62.0)
オーストラリア語	2	語学除全	P12Q	外国	58(29.0)	3	94(47.2)	20(10.4)		78(39.0)
化学 I B	4	自然	P Q	理科	24(12.0)	2	2(1.0)	6(3.1)		30(15.0)
地学 I B	4	自然	P	理科	15(7.5)	2	10(5.0)	8(4.2)		23(11.5)
物理 I A	2	自由選択	Q 1	理科			16(8.0)	3(1.6)		
数学A	2	自然	P1P2	数学			42(21.1)	43(22.4)		
地理A	2	自由選択	Q 2	地歴	12(6.0)	1	27(13.6)	15(7.8)		27(13.5)
日本史A	2	語・美除	P2Q2	地歴	31(15.5)	2	52(26.1)	26(13.5)		57(28.5)
工芸 I	4	美術工芸	Q	芸術	20(10.0)	1	31(15.6)	2(1.0)		22(11.0)
図法・製図a	2	美術工芸	P 2	美術	30(15.0)	1	39(19.6)	7(3.6)		37(18.5)
素描 a	2	美術工芸	P 1	美術	31(15.5)	1	55(27.6)	7(3.6)		38(19.0)
工業一般	2	工業技術	P1Q1	工他	52(26.0)	2	19(9.5)	2(1.0)		54(27.0)
工業数理	2	工業技術	P2Q2	工業	50(25.0)	2	17(8.5)	2(1.0)		52(26.0)
流通経済a	2	流通管理	P2Q1	商業	28(14.0)	2	38(19.1)	12(6.3)		40(20.0)
7-7 th 実習	2	流通管理	P1Q1	商他	66(33.0)	2	59(29.6)	20(10.4)		86(43.0)
基礎スポーツ	2	健康体育	P1Q1	体他	47(23.5)	2	30(15.1)	3(1.6)		50(25.0)
体育理論	2	健康体育	Q 2	体育	32(16.0)	1	10(5.0)	2(1.0)		34(17.0)

表6. Y高校科目選択生徒数(率)

(平成6年、7年両年度1、2年次用開設科目:旧母胎学科:水産3学科各1年級;普通教科目履修者≤120、専門科目履修者数≤40)

科目	単位	系列	展開	教科	平成6年度		平成7年度			H6年度入学生 合計受講者 N=120とする
					1年(%) N=120	講座	1年(%) N=120	2年(%) N=107	講座	
英語I	4	共通		外語	63(52.5)	3	51(42.5)	1(0.9)	3	64(32.0)
英語II	4	共通		外語				12(11.2)	1	
コミュニケーションB	2	共通		外語				5(4.7)	1	52.3
外国事情	3	海洋		外語				9(8.4)	1	
英語一般	2	流通		英語	21(17.5)	1	16(13.3)	4(3.7)	1	25(20.8)
オーラルA	2	共通		英語	20(16.7)	1	25(20.8)	3(2.8)	1	23(19.2)
英語検定	2	共通		英語	8(6.7)	1	3(2.5)		1	
国語II	4	共通		国語				23(21.5)	2	
国語表現	2	流通		国語				15(14.0)	2	
世界史B	4	自由		地歴			6(5.0)	4(3.7)	1	
地理B	4	自由		地歴			7(5.8)		1	
化学IB	4	自由		理科			5(4.2)	5(4.7)	1	
生物IB	4	自由		理科			4(3.3)		1	
地学IB	4	自由		理科			4(3.3)	4(3.7)	1	
数学A	2	自由		数学			10(8.3)	48(44.9)	3	
数学B	2	自由		数学				8(7.5)	1	
栄養	2	生涯スポ		家庭	8(6.7)	1	33(27.5)		1	
食物	2	食品		家庭	12(10.0)	1	10(8.3)		1	
体育理論	3	生涯スポ		体育	41(34.1)	1			1	
ｽｽﾞｰｸﾞ1・2・3	2	共通		体育	67(55.5)	1	72(60.0)		1	
ｽｽﾞｰｸﾞ1・2・3	3	生涯スポ		体育				33(30.8)	1	
ｽｽﾞｰｸﾞ1・2・3	6	生涯スポ		体育				39(36.4)	1	
体操	2	生涯スポ		体育	36(30.0)	1	38(31.7)		1	
水産一般	3	海洋		水産	15(12.5)	1	9(7.5)		1	
操船	3	海洋		水産	11(9.5)	1	20(16.7)		1	
ｱﾘﾝｽｽﾞｰｸﾞI	2	共通		水他	16(13.3)	1	13(10.8)		1	
ｱﾘﾝｽｽﾞｰｸﾞII	6	生涯スポ		水他				17(15.9)	1	
水産食品衛	2	食品		水産				17(15.9)	1	
水産食品化学I	2	食品		水産				11(10.3)	1	
水産食品製造I	2	食品		水産				15(14.0)	1	
水産生物I	2	海洋		水産				9(8.4)	1	
栽培漁業	3	海洋		水産				11(10.3)	1	
簿記II	2	流通		商業				8(7.5)	1	
計算事務	2	流通		商業				11(10.3)	1	
商業デザイン	2	流通		商業				21(19.6)	1	
流通経済	3	流通		商業	37(30.8)	1	29(24.2)	1(0.9)	1	38(31.7)
簿記I	2	流通		商業	16(13.3)	1	20(16.7)		1	
食品流通	2	食品海洋		農業	17(14.1)	1	24(20.0)	3(2.8)	1	20(16.7)
応用微生物	2	食品		農業				11(10.3)	1	
自動車工学	2	自由		工業				32(29.9)	2	産振外
看護基礎医学	3	生涯スポ		看護				21(19.6)	1	
総合実習	3	各系列		専科				106(99.1)	4	
珊瑚礁科学	3	海洋		他	14(11.7)	1	16(13.3)		1	
野外活動	2	生涯スポ		他	22(18.8)	1	8(6.7)	3(2.8)	1	25(20.8)
郷土音楽I	2	自由		他	56(46.7)	3	51(42.5)	5(4.7)	3	61(50.8)
郷土音楽II	2	自由		他				18(16.8)	1	
郷土史	2	自由		他				9(8.4)	1	
郷土の文学	2	自由		他				5(4.7)	1	

表7. X高校の個人別科目選択状況

(選択科目履修可能単位：1年次8、2年次22、3年次22、計30；普・専の別は学習指導要領の区分による)

	年次	科目名	語学	自然	情報	工業	流通	美工	健康	共通	自由	普通	専門	他	年計	
No.1	1年	英語 I 流通経済a ワープロ実習					2 2			4		4			8	
	2年	古典 I 国語 II 地学 I A オラ・コメカ 英語 II ライティング 生物 I A	4							4 2 2 4	2	4 4 2 4 4	2			22
	推定	文系進学	8				4			14	4	26	4			30
No.2.	1年	ワープロ実習 オラコメカ					2			2 4		2 4	2		30	
	2年	英語 I 音楽 II 数学 A2 書道 II 硬筆中 オラコメカ B 英語理解 国語 II 生物 I A 文書処理 A 地学 I A	4	2						2 2 2 4 2	2	2 2 2 4 2	4 2			
	推定	文系進学	4	2			4			12	8	22	8			30
No.3.	1年	素描 a. オラコメカ						2		2		2 4	2		30	
	2年	ワープロ実習 図法・製図 a 美術 II オラコメカ B 国語 II 工芸 II ビジュアルデザイン 日本近代文学	2				2	4 2 4		2 4		2 4 4	2 2 4	2		
	推定	就職・進学	2				2	18		8		18	10	2		30
No.4.	1年	ワープロ実習 オラコメカ a 基礎スポーツ 体育理論					2		2 2	2		2	2 2		30	
	2年	数学 Aα 文書処理 a 簿記 a スポーツ A オーラル B 数理学 スポーツ Aβ 地学 I A		2			2 4		4 4	2		2	2 4 4	2 4		
	推定			2					4	2		2	2 4			30

		就職	6			8		12	4		8	22		30
No.5.	1年	工業一般 日本史A 基礎スポーツ 体育理論			2情				2		2		2	
	2年	ワープロ実習 現代語 国語II 日本史B 書道II硬筆 数理科学 世界史B 生物IA 現代社会	2 4 4			2		2	4		2 4 4 2 4 2	2 2 2		
		文系進学	10	2		2	2	4	6	4	20	10		30
No.6.	1年	英語I 現代語 ワープロ実習	2						4		4 2		2	
	2年	数学A 文書処理A 簿記a 地理A 数理科学 書道II硬筆 物理IA 国語II 生物IA		2		2 4					2 2 2 2 4 2	2 2 4 2		
		就職・進学	2	4			8		8	8	20	10		30
No.7.	1年	素描a 図法・製図a 工芸I					2 2 4						2 2	
	2年	オーラルA 数学A2 美術II 特許理論a 地理A 美術史 工芸II ビジュアルデザイン ワープロ実習		2			2 2 2 4 4		2		2 2 2 4	2 2 2 4	2 2	
		就職		2		2	22		2	2	16	12	2	30
No.8.	1年	英語I 工業一般 工業数理			2情 2情 4				4		4		2 2	
	2年	工業技術製図 電気基礎 工業技術実習a 機械設計 数理科学 工業基礎 数学A		4工	4 2								4 4 4 2 2 4	
		就職・工業		4	4	18			4		6	24		30

No.9. *	1年	工業一般 工業数理 英語 I			2情 2情							2 2			
	2年	数学II 日本史B 物理 I B 国語II 英語II 数学A	4						4 4 4 4 4		4 4 4 4 2				
		進学・工学系	4	2		4					20		26	4	30
No.10.	1年	化学 I B 工業一般 工業数理		4		2情 2情 4							4		
	2年	工業技術製図a 電気基礎 工業技術実習a 機械設計 物理 I A 工業基礎 日本史A			4工	4 2 4情					2		2	2	2 2 4
		就職・工業		4	4	18					2	2	8	22	30
No.11.	1年	化学 I A 工業一般 地理A		4 2		2情							4	2	
	2年	数学A 工業数理 英語 I 地学 I A 美術史 中国語a オーラルA 物理 I A ワープロ実習	4			2情		2		4	2		4 2 2	2 2	4
		就職	4	6		4	2	2		6	6	18	8	4	30
No.12.	1年	化学 I B 工業一般 工業数理		4		2情 2情							4	2 2	
	2年	ワープロ実習 日本史A 電気基礎 スポーツAα 国語II スポーツAβ 地学 I A			4工		2			4 4		2	2	4 4 4	
		就職・工・スポ		4	4	4	2			8	6	2	12	18	30
No.13.	1年	英語 I 現代語 ワープロ実習	2								4		4 2		
	2年	数学A 流通経済a 書道II硬筆 地理A		2			2						2 2 2	2	

		生物 I A 数理科学 国語 II オーラル A 文書処理 a 日本近代文学	2			2		4 2	2 2	2 2	2 2		
		進学・文系	4	4		4	2	10	6	20	8	2	30
No. 14.	1年	工業一般 工業数理 英語 I				2情 2情						2 2	
	2年	情報科学実習 aA 電気基礎 情報科学製図 a 情報科学実習 aB オーラル A 物理 I A 情報技術		4 4工 4 4				4 2		4 2		4 4 4 4	
		就職		18	4			6	2	8	22		30
No. 15.	1年	基礎スポーツ 現代語 流通経済 a ワープロ実習	2								2 2 2		
	2年	地学 I B 書道 II 硬筆 地理 A スポーツ A α 数学 A 数理科学 スポーツ A β 生物 I A		4 2 2		2 2		4 4	2 2	4 2 2		4 2 4	
		就職	2	8		4		10	6	14	16		30

VI. 総合学科の展望

資料6. 現状評価と課題（聞き取り結果）

1. 現在までの成果について

- <A>①総合学科に進学する意欲をもって入学してきており、学校の雰囲気が変わった。②施設・設備が整いつつあり、全校に還元できるようになる。
- ①生徒の成長ぶり、主体的である。②教師が自信を取り戻した。③教師と生徒の人間関係が身近になり、改善されている。
- <C>まだ断定できないが、①施設の充実、②生徒が目的意識的になっている。③少人数科目の場合、生徒の意欲が目立つ。
- <D>①美化運動、挨拶運動を学校ぐるみで取り組んだこともあって、生活態度に著しい改善が目立つ。上級生への良い影響、上級生も下級生を尊重（いじめが見られない）、②教師の自信・協力による学校改善（教師の子供も入学）、③部活動も成果をより良い成果。
- <E>①学習意欲、進路意識の向上が見られ、学科のめざす方向に進んでいる。②部活動も活発になってきた。
- <F>①「産社と人間」の計画、内容についての日常的検討、見学指導などで教師自身の变化、協力体制②発表、討論などで生徒が自主的になった。③普通科より総合学科の方が大きくなって、生き生きしている。

2. 今後の課題

- <A>①特定教師（例：産社担当など）の問題としないよう、学科への認識を深める研修。②社会人講師の確保、見学・実習のための予算。③まず、既設校の充実が先ではないか。あまり広がらないように思う。
- ①「金につきる」、理念的にはすばらしいが、財政的に県だけで持ちこたえられるか？（本校だけで、普通教科実習室、設備、改装費、新築：新実習室、大講義室）などで約2.5億かかっている。②「走りながらやっていかないと分からない」、③産社の充実を柱に進めていきたいが、まだ生徒の意見が充分聞けていない。参加型の授業の強化。④地域の協力、④成績処理システムの導入、⑤産社などの評価法の開発
- <C>①進路を具体的にどう保障するか、大学での受け皿など出口の問題の改善、②学級担任とのつながりが薄くなるのでガイダンスの強化、③施設の整備・改装など（空き時間のための自習室、ガイダンス室、自動車実習室など）、④大学入試での推薦制の実施にかかっている。
- <D>①制度改組から教育の内容（中身）の改革へ、②オリジナル科目を看板倒れにならないように育てること、③進学、就職、資格取得、部活で結果を出していくこと、④帰属意識を高めるHR運営の強化、⑤財政措置がとられれば拡大可能、⑥偏差値入試の是正
- <E>①偏差値教育の克服が地域レベルでどう克服できるか（それなしでは総合学科の将来はない）、②進学、就職の実績づくり（地域、大学等の理解）、③施設、設備、教員定数（加配）原則の充実、具体化、④実習助手が産振なみに認められるか。
- <F>①少人数教育をどう保障するか。（人的措置）、②履修管理ソフト（1,000万）、時間制作成ソフト（400万）の確保、③早期の進路決定による父兄などとの懇談の強化。